



としょかんだより 6月号

平成26年6月

第3号

皆川城東小学校

運動会も終わり、6月がやってきました。これから、梅雨という、雨が多い季節が

始まります。雨が降り、外で遊べない日…。そんな時はぜひ、図書室で静かに本を

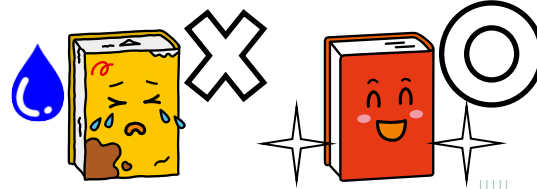
読みましょう。「雨が降ったときは、本を読むチャンス！」と思うと、雨の日も楽しく

過ごせそうですね。みなさんが、たくさんの「心に残る本」と出会えることを楽し

みにしています。

また、雨の日には本を持ち帰るとき、持って来るときには、本をぬらさないように

気を付けてください。よろしくお願いします。



おめでとう！必読図書が読み終わりました(5月28日まで)

3-1 永木 美咲さん 高岡 瑠花さん
6-1 大出 珠々さん 豊田 彩葉さん



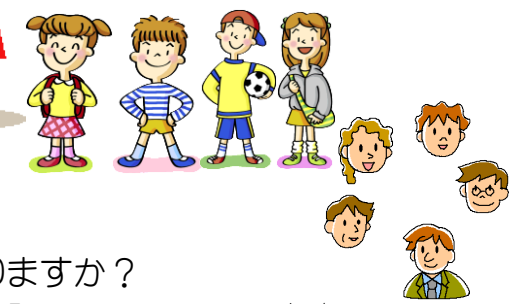
まだ、必読図書を全く読んでいない人もいるかもしれませんが、少しずつ
読み進めていきましょう。「みなさんに、今の学年のうちに読んでほしい！」

という思いで選んでいる本です。

必読図書が教室に置いてある場合でも、図書袋と一緒に図書室まで
持ってくると、図書室の本と同じように貸し出しができます。「ちょっと 難し

そうだなあ」と思う必読図書は貸し出しをして、お家でゆっくり読んでみて

ください。必読図書は、右側で紹介している「家読」の本としてもおすすめ
ですよ！



児童のみなさんと保護者のみなさんへ
うちどく

家読のすすめ

みなさん、「家読」という言葉を聞いたことはありますか？

家読とは、一緒に本を読んだり、本を読んで「面白かった！」という気持ちを
家族や身近な人と伝えあったりして、一緒に本の世界を楽しむことです。

「なんだか 難しそう…」「大変そう…」そう思った人も大丈夫！

家読に、難しい決まりはありません。



たとえば、

◆一緒に本を読む。…1・2年生のみなさんにおすすめ。読み聞かせをしながらでも。

◆同じ本を読む。…一緒に読んでも、別の時間に読んでも。



◆同じ時間に本を読む。…時間を決めて、家族で読書をしてみましょう。



◆本の読み聞かせをする。…家族から子ども、子どもから家族、どちらでも。

◆本の感想を言う。(言い合う。)…どこが面白かったのか、言葉にしてみましょう。



◆本のおすすめをする。(し合う。)…家族がおすすめする本を読んでみましょう。

◆一緒に本を選ぶ。…小学校の図書館は、夏休みの開館日に一緒に入れます。

など、様々な方法があります。まずは、家族全員が「これならできる！」と思った

ことから始めてみましょう。忙しく過ごしている日々のちょっとした空き時間(10
分くらい)でも、家読はできます。最初は月に1~2回と、無理なく始めてみましょう。

家族で本を楽しむことができれば、それが家読です。

としょかんだよりでも今後、家読におすすめの本やうちどく Q & A (質問集)を
紹介していく予定です。学校でも、家庭でも、読書を習慣にしてくださいね。

保護者の方へ

学校では、国語力の向上と豊かな心を育むため、読書教育(朝の読書や音読など)を
行っております。ご家庭でも、家読へのご理解とご協力、よろしくお願いします。

